

福島県立
相馬総合高等学校

SOMASOGO HIGH SCHOOL

学校案内2026

個性を未来につなげる



Philosophy

教育理念

校訓・グラデュエーション・ポリシー

誠実 自律 共生 創造

基礎・基本を大切にし、自ら学び続ける生徒

思いやりを持ち、他者と協力して課題に向き合う生徒

自分のことだけでなく、
地域や社会の未来のために自ら行動できる生徒

重点目標

生徒一人一人が
活躍できる教育

総合学科の特色を生かし主体的な学び
を促進し、進路指導や家庭学習支援、
心身の成長支援に取り組みます。

地域と連携した学び

中高一貫教育や探究活動、ボランティ
ア活動などの交流を通じ、地域ととも
に学び、協働できる人材を育成します。

防災・復興教育

命の尊さを学ばせ防災意識を高め、震
災の記憶継承と情報発信を通じて主体
的に行動できる人材を育成します。

History

本校の歴史

相馬東高等学校

- 1907 相馬郡立相馬女子技芸学校
- 1911 相馬郡立相馬実科高等女学校
- 1922 福島県立相馬高等女学校
- 1948 福島県立相馬女子高等学校
- 2003 福島県立相馬東高等学校
- 2007 創立100周年
- 2017 創立110周年

新地高等学校

- 1906 新地村実業補習学校
- 1935 新地村実業学校・同家政女学校
- 1948 福島県立新地高等学校
- 1951 福島県立相馬高等学校農業部
- 1964 福島県立新地高等学校
- 2006 創立100周年
- 2016 創立110周年

相馬総合高等学校

2022 福島県立相馬総合高等学校

つながる二校の歴史と想い

相馬総合高校として「祈り」と「おもひ」をつないでいきます



祈りの石



おもひの木

祈りの石

相馬東高校では、2011年に発生した東日本大震災にて、9名の生徒が犠牲となりました。校庭の西側、相馬東高校の校歌の歌碑がある場所に石碑があります。横にスライドさせることで碑文を見ることができ、そこには、「祈り」という言葉と、「東日本大震災」、そしてその発生日月日である「2011年3月11日14時46分」が刻まれています。

おもひの木

新地高校でも、東日本大震災にて9名の生徒が津波の犠牲となりました。震災で亡くなられた多くの方々を追悼するため、2017年3月11日に「偲ぶ会 東日本大震災追悼・祈念植樹式」を行い、中庭に沙羅の木を植え、「おもひの木」と名付けました。

Curriculum

カリキュラム

魅力ある5つの系列

目指す進路に合わせた
5系列と選択科目

1年次

共通科目



2・3年次

共通科目 + 選択科目

文理教養系列

スポーツ系列

芸術系列

生活福祉系列

産業ビジネス系列



文理教養系列

- ・国数英理社5教科が中心
- ・基礎を定着させながらレベルに合わせて科目選択できる
- ・知識はもちろん、表現する力を養う
⇒4年制大学、短期大学、高等看護専門学校への進学に対応



スポーツ系列

- ・スポーツを「する」だけでなく、「みる・支える・知る」という多様な関わり方ができる
- ・スポーツの価値、共生社会や持続可能な社会への理解を深める
- ・生涯を通じて豊かなスポーツライフを実現するための資質や能力を育成する
⇒スポーツ系の4年制大学、短期大学、専門学校への進学に対応



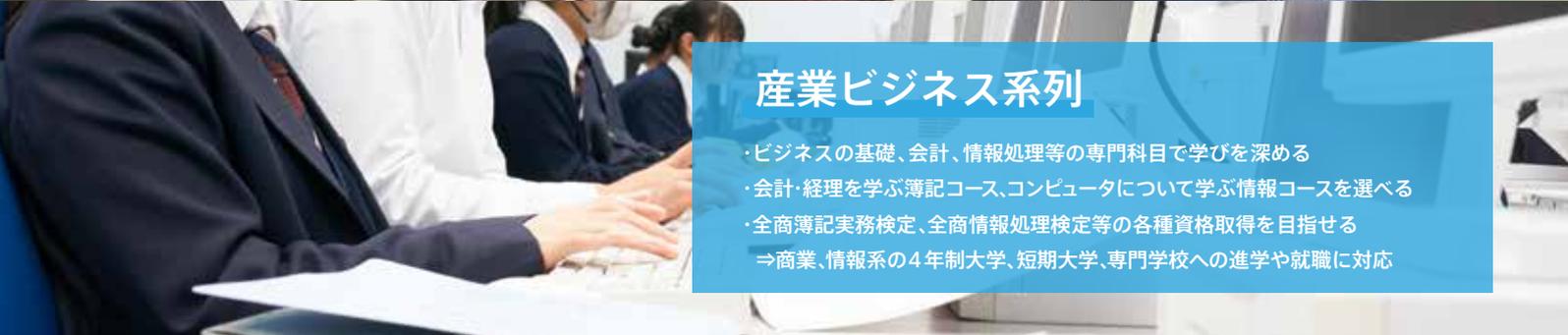
芸術系列

- ・芸術系(音楽・美術・書道)の知識、技能の向上
- ・未経験者でも一から学べて表現する力を養うことができる
- ・イメージを最大限に活用して創造性と感性を高める
⇒芸術系の4年制大学、短期大学、専門学校への進学に対応



生活福祉系列

- ・食物、被服、保育、福祉、介護の専門科目で学びを深める
- ・実習活動を通じた知識と技能の向上
- ・家庭科(食物調理・被服製作・保育)技術検定の資格取得を目指す
⇒家庭、福祉系の4年制大学、短期大学、専門学校への進学や就職に対応



産業ビジネス系列

- ・ビジネスの基礎、会計、情報処理等の専門科目で学びを深める
- ・会計・経理を学ぶ簿記コース、コンピュータについて学ぶ情報コースを選べる
- ・全商簿記実務検定、全商情報処理検定等の各種資格取得を目指す
⇒商業、情報系の4年制大学、短期大学、専門学校への進学や就職に対応

Feature

特色

防水板設置訓練



本校では校舎と体育館への浸水を防止し、学校生活を維持するための防水板が整備されています。

2019年10月に発生した台風19号により、市内の宇多川などが氾濫し浸水の被害にあいました。校舎の1階が約20センチ浸水し、授業ができない状態でした。当初、教員や保護者が片付けに当たっていましたが、約130人の生徒が自主的に集まり、机やイスなどを運び出し、校舎内の清掃を行いました。「自分たちの学校は自分たちで守る」という強い思いで、浸水から13日後に再開しました。その経験から、全校生で防水板設置訓練を行い災害に備えた取り組みをしています。

防災訓練（R6年度実施）



災害時に自ら考え、判断し、危険から身を守る行動をとれるよう「気づき、考え、実行する」ができる力を育成します。自衛隊や赤十字、市役所の方にご協力いただき、物資運搬実習や避難所運営ゲーム、テント設置実習などを行い、防災に関する基本的な知識と応用できる行動力を高めました。



東日本大震災追悼式典

3月に追悼行事を行い、地域と自分たちのこれからについて考えます。
黙とうを捧げ、外部講師を招いて災害との向き合い方について一人ひとり考えます。

産業社会と人間

（1年次） これまでの主な活動

防災学習：震災と復興外部講師講話、被災地・伝承館等見学
職業インタビュー、ライフプランの作成

総合的な探究の時間

（2年次） これまでの主な活動

地域を知る、プレ探究(グループ)、個人探究、インターンシップ(希望者)

（3年次） これまでの主な活動

個人探究、合同探究発表会、県総合学科生徒研究発表会

将来ホテルやサービス業など人と関わり多くの人を笑顔にしたいという思いがあり、地域の観光業に目を向けこのテーマを設定しました。本校だけでなく他校の生徒にも相馬市の魅力や課題についてのアンケートを実施し、観光協会の方にインタビューを行いました。インタビューを通して、相馬市は二次交通が少ないという課題を持っていること、「みちのく潮風トレイル」という取り組みに力を入れていることを知りました。そこで、多くの人が魅力だと感じている松川浦のトレイルコースを考え、マップを作成しました。その過程でバスツアー企画へ参加することになり、高校生を対象とした相馬の観光ツアーの企画・提案・実施まで携わることができました。

(課題研究発表会：相馬市の魅力と課題について)

年齢を重ねるにつれ運動不足が目立つ高齢者と、スマホゲーム等の普及により運動不足や運動嫌いが多くなっている子どもの現状を知りました。あわせて、核家族世帯の増加により祖父母と孫の関係性が薄くなっていると感じ、高齢者と子供が楽しく健康になれる運動をテーマにしようと考えました。幼稚園や社会福祉協議会へ祖父母との関係性や運動状況についてインタビューを行い、レクリエーションを考えました。イベントを実施し実際に体験してもらうことで、考えたメニューの難易度が高いことに気づいたとともに、積極的にコミュニケーションをとりながら運動できていることが分かりました。参加者に「楽しかった」「またやりたい」と言われ、今後は大学でもっと効果を期待できる運動を考えていきたいと思いました。

(課題研究発表会：高齢者と子供が健康になれる運動)

令和6年度合同探究発表会 系列代表テーマ(一部)

文理教養系列	ストレス解消法
スポーツ系列	高齢者と子供が健康になれる運動
芸術系列	ほっき貝の貝殻の使い道について
生活福祉系列	避難所で簡単に料理を作ろう!!
産業ビジネス系列	相馬市の魅力と課題について



主な進路実績

四年制大学	短期大学	企業名
医療創生大学	会津大学短期大学部	浅野燃糸株式会社 双葉事業所
福島学院大学	聖和学園短期大学	オリエンタルモーター株式会社 相馬事業所
日本大学	仙台青葉学院短期大学	株式会社IH 相馬事業所
石巻専修大学	昭和学院短期大学	株式会社IH キャスティングス 相馬工場
尚綱学院大学		株式会社IH ジェットサービス
仙台青葉学院大学	専門学校等	株式会社東邦銀行
仙台大学	テクノアカデミー浜職業能力開発短期大学校	株式会社福島ニチアス
東北学院大学	テクノアカデミー浜職業能力開発校	株式会社ほこだて仏光堂
東北工業大学	相馬看護専門学校	社会福祉法人竹水会
東北福祉大学	葵会仙台看護専門学校	藤倉コンポジット株式会社
東北文化学園大学	仙台医療福祉専門学校	日本郵便株式会社 東北支社
東北芸術工科大学	仙台ECO動物海洋専門学校	明治商工株式会社
宮城学院女子大学	仙台こども専門学校	
駒澤大学	仙台ウェディング&ブライダル専門学校	公務員
実践女子大学	仙台総合ビジネス公務員専門学校	亘理町役場
聖徳大学	仙台スクールオブミュージック&ダンス専門学校	南相馬市役所
千葉商科大学	仙台リゾート&スポーツ専門学校	福島県警察
獨協大学	ファッション文化専門学校 DOREME	警視庁
武蔵大学	宮城調理製菓専門学校	陸上自衛隊



福島県立相馬総合高等学校 SOMASOGO HIGH SCHOOL

〒976-0014
 福島県相馬市北飯渕字阿弥陀堂200番地
 TEL: 0244-36-6231 FAX: 0244-36-6276

相馬総合高等学校 公式サイト

学校の情報などを紹介
<https://somasogo-h.fcs.ed.jp/>

note

相馬総合高等学校の日々の情報を発信
<https://somasogo-hs.note.jp/>

